

第 233 回 役員 会 議 事 録 (要 録)

平成 27. 6. 25 (木) 15:20 ~ 15:35

場 所 : 法人本部棟 5F3 会議室

出席者	越智, 坂越, 佐藤, 吉田, 高田, 松ヶ迫 以上役員 6名
欠席者	平川
オブザーバー	高橋, 相田, 江坂, 寺本, 河野, 神谷, 竹内, 河村, 佐々本

(議事)

1. 平成 26 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について --- (経営協議会別紙 1 参照)
(学長提案・説明)

各組織において行った年度計画の実施状況の点検・評価の結果を基に、本学評価委員会及び各
部局等の意見等を踏まえて取りまとめた平成 26 事業年度に係る業務の実績に関する報告書につ
いて提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、6月30日までに国立大学法人評価
委員会へ提出することとした。

2. 平成 26 年度決算及び決算確定に伴う平成 27 年度補正予算について (経営協議会別紙 2 参照)
(松ヶ迫理事 (財務・総務担当) 提案・説明)

平成 26 年度決算について提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、財務諸表等
を文部科学大臣及び会計検査院長に提出するとともに、決算確定に伴う平成 27 年度補正予算を
承認し、学内の決算配分を行うこととした

3. 第 3 期中期目標・中期計画 (素案) について ----- (経営協議会別紙 3 参照)
(学長提案・説明)

「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて」の文部科学大臣通知等を踏まえ策定
した第 3 期中期目標・中期計画 (素案) について、審議の結果、原案のとおり承認し、6月30
日までに文部科学大臣へ提出することとした。

4. 平成 28 年度概算要求事項について ----- (経営協議会別紙 4 参照)
(松ヶ迫理事 (財務・総務担当) 提案・説明)

平成 28 年度概算要求に際しては、機能強化の方向性に応じた三つの重点支援の枠組みから一
つを選択することとなっており、本学は世界トップ大学と伍して、卓越した教育研究を推進する
重点支援③を選択し、要求することについて提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認
した。なお、要求事項及び順位の最終決定は学長が行った上で、文部科学省へ要求することとし
た。

5. 学内共同教育研究施設等における教員人事について ----- 別紙1
(坂越理事(教育・平和担当)提案・説明)

5月28日の本会議で継続審議となっていた国際センターの教員人事(教授2名,任期の定めなし)における候補者の選考について提案・説明があり,審議の結果,人事選考委員会からの選考報告による候補者を教授として選考し,発令手続を行うことを承認した。

6. 平成28年4月1日付け教員人事について ----- 別紙2
(坂越理事(教育・平和担当)提案・説明)

平成28年4月1日付け教員人事について,部局から教員配置の申請があった32件の教員人事の選考開始の可否に関し,役員会の下に設置した人事委員会において検討した結果,平成27年度比2%の削減後のポイントの範囲内であり,かつ国際公募を行った上で選考する24件の人事については,選考開始を認める旨,提案・説明があり,審議の結果,原案のとおり承認した。なお,公募を実施しない内部昇任人事7件については,部局に再検討いただき,次回の役員会に付議することとした。

また,平成28年4月2日以降の人事については,国際公募を原則とすることとした。

7. 弾力的活用スペースの使用者選定について ----- 別紙3
(学長提案・松ヶ迫理事(財務・総務担当)説明)

弾力的活用スペースの使用申請(プロジェクト研究チーム(2チーム)及び施設が未整備の新組織等(1組織))について提案・説明があり,審議の結果,原案のとおり承認した。

また,学長から,スーパーグローバル大学創成支援事業推進のための海外の協定大学の新規開拓及びダブルディグリーやジョイントディグリーの推進のために,山根八洲男前学長特命補佐(ドミニカ担当)に,工学系分野の海外機関とのコーディネーターや学内調整を担当する特任教授を依頼することの報告があり,今回承認した弾力的活用スペースを使用していただく旨,発言があった。

以上(資料添付略)